（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	さぽな荏原教室（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	２０２５年　３月　１日	～	２０２５年　３月　１５日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	41	（回答者数）	24
○従業者評価実施期間	２０２５年　３月　１日	～	２０２５年　３月　１５日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	14	（回答者数）	12
○事業者向け自己評価表作成日	２０２５年　３月　２０日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	研修を定期的に行い、お子様ひとりひとりにあった支援が出来るようにしている。	定期的に研修を行い、職員一人一人が学ぶ機会や自身の療育を振り返る機会を作っている。	今後も定期的に研修や情報共有を行い、お子様一人ひとりにあった支援を行っていく。
2	幅広い受け入れ態勢。	職員の配置を工夫することにより、送迎範囲を広げより多くの地域の方がご利用できるよう努めています。	二教室目を開所し、より多くの方がご利用できるようにしていきます。
3	職員間の連携がとれている。	口頭や電話、メール等様々なツールを使い、情報共有に努めている。	今後は通常の情報共有に加え、職員会議などの充実を図り、情報共有し、より連携がとれるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に事業所のことをより知ってもらうための情報ツールの希薄さ	HPやInstagramの情報更新の頻度が低い	担当を決めるなど、定期的な情報発信に努めていく。
2	保護者とのコミュニケーションがとりずらい	送迎業務を行っている為、一部の保護者様以外はお話する機会が少なく、保護者様とのコミュニケーションがとれていないことがある。	定期的に面談をしたり、SNSなど、保護者様が連絡をとりやすいようなツールを紹介することで、コミュニケーションをとっていく。
3	緊急時や様々な対策の対応方法の共有不足	日々の業務に追われてしまい、緊急時対応マニュアルをしっかりと確認したり、災害を想定した会議などが充実していないものがある。	療育の研修も含め、様々な研修動画の充実を図っていく。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

さぼな荏原教室（放課後等デイサービス）

事業所名	さぼな荏原教室（児童発達支援）

公表日　2025年3月20日

利用児童数　37　回収数　24

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	7	0	3	伸び伸びと活動している様子が伺える。 もっと広くてもいいと思いますが品川区だと難しいと思う。	限られたスペースになってしまいますが、お子様が過ごしやすいよう、環境設定などを工夫してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	2	0	4	手が行き届いており、丁寧に見てもらっている。全体的に温かな目。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	5	0	6	特別スロープを設置しているわけではないが、ベビーカーで行っても不便を感じない。	段差はない設計になっておりますが、玄関などは職員がつくようにし、配慮しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	5	4	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1	1	5		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	5	0	0		今後、SNSでも支援プログラムを公表する予定です。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	0	0	0	面談を通して課題を明確にして子どもの特性を理解したうえで接してもらっている。	ありがとうございます。今後も面談で様々なお話が出来ればと思います。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	10	0	8		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	4	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	0	0	1	日々異なるプログラムを行っていただいており、保育園へ行けていなくても充実した活動が出来ていてありがたい。	ありがとうございます。今後も様々な活動を行っていきたいと思います。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	6	5	10	交流機会がないが必要性を感じないため、このまま問題ない。	特別に交流の機会は設けておりませんが、公園などで地域のお子様と関わる機会がございます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	4	契約書の読み合わせの時点で丁寧な説明があったので理解できている。	ありがとうございます。今後も、契約時や皆様をご説明させていただきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	4		

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	7	1	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22	1	0	0	保護者から状況を伝える機会が少ない。連絡帳がとても丁寧で何をしていてどんな成長をしているのかが分かる。毎日の連絡帳が楽しみ。	毎日の連絡帳、楽しみにしてくださりありがとうございます。保護者様からのご連絡もお気軽にいただければと存じます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1	1	2	面談の際、事務の方とお話ししましたが保護者との会話の仕方や言い方、伝え方に配慮がなく接し方を考えて頂きたい。面談を通してアドバイスを頂けて助かっている。	ご不快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ございません。今後は適切な伝え方が出来るよう、指導いたします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	2	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	9	5		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	0	0	8	トラブルがあってもLINEをいただけるので全く困っていない。こちらからの要望もLINEで送りやすく、すぐに対応していただけているので助かっている。	ありがとうございます。今後も迅速に対応させていただきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	0	0	1	アプリで丁寧にフィードバックしてくださりありがとうございます。LINEのおかげでコンタクトが取りやすい。緊急時用に電話の受付時間や番号も把握したい。	ありがとうございます。緊急時の為の電話番号は契約時にお伝えさせていただいております。受付時間は営業時間9:00～18:00となります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	6	2	10		ご不便をおかけして申し訳ございません。HPの更新を含め、保護者様にわかりやすい情報発信に努めて参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	3	0	2	連絡帳の写真も自分の子以外は隠してあってお手数おかけしています。	今後も個人情報の取り扱いには気を付けて参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	2	7	特に周知はされていないが、あえてマニュアルを公開する必要はないと思う。対策をされていれば問題なし。	それぞれのマニュアルを作成しております。今後、保護者様が閲覧できるよう検討していきたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	0	1	11	非常時に慌てずスムーズに対応できるよう職員間でまとまっていれば問題なし。今後避難訓練が行われると嬉しい。	お伝えできておらず誠に申し訳ございません。定期的に消防署に見学に行くなどの災害に対しての意識付けや避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	2	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	0	0	4		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	15	2	4	3		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	0	0	1	先生方のことが大好きです。さぽなのことが大好きすぎて、お迎えが来ると足をバタバタして喜んでいる。連絡帳の写真やエピソードも笑顔が溢れている。	ありがとうございます。お子様が楽しんで通所していただいていることが私共の励みになります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1	0	0	まだ通って1年もたっていないが出来ることが増えてとても育てやすくなって感謝している。	ありがとうございます。今後も、お子様・保護者様に寄り添った療育が出来るよう努めて参ります。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	さぽな荏原教室（児童発達支援）

公表日　2025年3月20日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	1	狭くなりそうな活動の時には、戸外を活用したり、時間帯を分けたりしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	12	0	一人ひとりに丁寧に対応できるよう、プログラムや利用者の状況によって職員の配置を調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	室内はフラットで段差がなく、庭や玄関を使用する際には見守りのスタッフが必ずついている。	玄関に段差がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	1	清掃・換気と整理整頓を行い、活動に応じて教材や家具の配置を調整している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	0	改善について常勤職員で話し合い、非常勤職員にも共有して実施している。毎月ミーティングや振り返りの機会を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	面談やアンケートを通して保護者のニーズを聞き取り、職員に周知・共有し、意見を伝え合う環境を整えている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	0		第三者評価は実施しておりません。 職員にその旨、周知致します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	2	職員が関心のある分野の研修を受講している。講師を招く機会を設け、研修を受講しやすいよう配慮している。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	3	活動の立案時に支援内容の組合せを意識し、ブログで五領域を記載して明確化している。	今後HPの他、SNSでも公表していく予定です。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	2	スタッフ同士で相談し、アセスメントと保護者のニーズを踏まえて放課後等デイサービス計画を作成し、周知している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	計画作成にあたってスタッフ同士で相談し、保護者のニーズを踏まえた検討を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	12	0	作成した計画を職員に周知し、支援前にホワイトボード・メール・口頭で内容を確認している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1	利用者の状況を把握・分析し、必要なサービスを明確にするため、同一の様式を用いてアセスメントを実施している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	放課後等デイサービスガイドラインに基づいた支援内容となっております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	2	活動の立案はお子様・児童発達支援管理責任者を中心に行い、実施についてはチームで検討し提供している。	今後、専門的な目線からも活動を考案していきたい。

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	2	職員もこどもも楽しめるプログラムを工夫している。駄菓子屋さんやすぽみっく♪など、継続した活動による変化もみられる。	固定化した内容の良さも踏まえ、新しい活動とのバランスを調整していきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた放課後等デイサービス計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	その日のミーティングで支援内容を決め、共通理解している。ホワイトボードに1日の流れを書き、メールや口頭でも確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	11	1	気になったことや今後継続したいことを振り返り、メール等でも職員同士で共有している。	シフトや勤務時間の関係で、その日のうちに全員で振り返ることが難しい場合がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	専門職を中心に日々の支援を記録し、職員に周知している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	1	こどもの成長に応じて計画内容を更新している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10	2	活動の立案時に基本活動を複数組み合わせることを意識している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	2		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	サービス担当者会議に参加する機会が増えている。	会議への対応準備を丁寧に行い、今後は様々な職員も参画できるようにしていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0	学校との連絡調整を職員間で共有し、就学前の施設とは保護者を通して情報共有している。必要に応じて専門機関とも連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	0	学校との情報共有や連絡調整をルールとしてスタッフ間で共有している。単独通所のこどもの来所時間等についても連携している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	0	保護者を通して、就学前に利用していた施設との情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	6	卒業後の移行支援については、評価時点で対象児童はいない。	対象となるこどもが生じた際に備え、支援経過・配慮事項の整理と移行先への情報提供手順を準備する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	11	1	必要に応じて、児童発達支援センター等の専門機関と積極的に連携している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11	1	公園やお出かけ先で交流している。ボランティアの受け入れも行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	3	協議会等への参加は積極的にはしていない。	地域の協議会等の開催情報を把握し、参加担当や日程を調整する。参加後は内容を職員間で共有する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	話しやすい環境を整え、受け入れやお迎え時に話す機会を設けている。必要に応じてメール等でも伝え、共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	4		今後ニーズに合わせて実施してく予定である。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	変更事項を文書で周知し、大幅な改定の際には説明会を実施している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	面談やアンケートで保護者のニーズを聞き取り、スタッフで相談しながら計画に反映している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	11	1		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	子育てに関する相談をいつでも受けられるようにし、相談しやすい環境作りを心掛けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	11	1	いつでも相談しやすい環境を作っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	要望があった際は速やかに職員へ周知し、職員間で議題にあげて対応策を保護者に提案している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	1	メール・手紙・インスタグラム等で情報を発信し、スケジュールを紙媒体で配布している。自己評価結果は毎年HPに掲載している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	ヒューマンエラーを防ぐための体制づくりを職員で話し合っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	こどもの成長や理解度に応じて、視覚的・聴覚的な支援を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	0	地域の方を対象とした相談会を実施し、挨拶や交流の機会を大切にしている。訪問駄菓子屋等を通して事業所の雰囲気を伝えている。	これからも地域に開かれた事業所でありたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	マニュアルについてメールやHPで配信している。職員がいつでも確認できるようにし、研修でも内容を確認している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	研修を年2回以上行い、災害体験施設も活用している。地震や火災等を想定した避難訓練を行い、改善点を職員で共有している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	3	利用開始時や状況の変化時に、服薬・予防接種・てんかん発作等の健康情報を保護者に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	1	利用開始時に保護者を通してアレルギー情報を確認し、その後も年1回確認して更新している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	2		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	9	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	ヒヤリハット事例を職員同士で共有し、研修資料としても活用している。再発防止策を速やかに講じ、チェックする体制を整えている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	定期的に振り返りや研修の機会を設け、対応を職員同士で共有している。パート職員も参加できるよう日程を調整している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	1	会議の議題として取り上げ、ケース会議を行っている。	